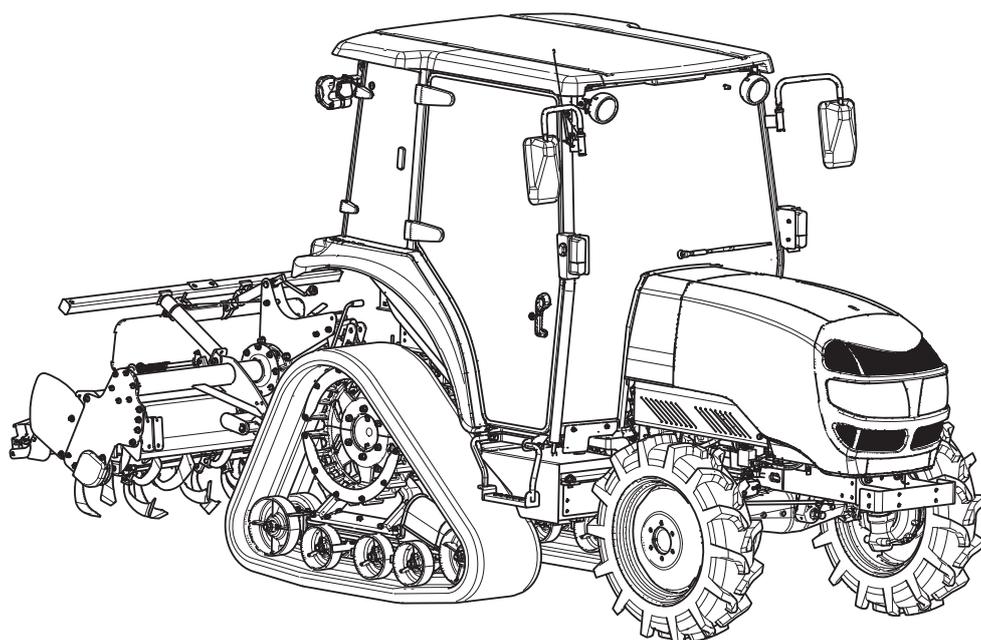


三菱ハーブクロ-ラトラクタ

取扱説明書

**GAK32・36・41
46・50**



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

本取扱説明書はホイールトラクタ(タイヤ仕様)との異なる点のみをまとめて説明しています。その他の項目は、[GA28~GA50の取扱説明書]をご覧ください。

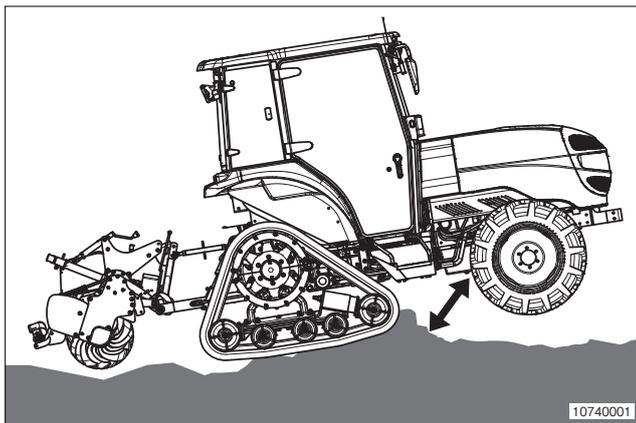
1. 安全作業のために

ハーフクローラトラクタはホイールトラクタ(タイヤ仕様)と異なりますので、この[安全作業のために]をよく読み、ご理解の上、使用してください。

⚠️ 運転するときは…

⚠️ 注意

◆あぜ越えなどクローラ部が凸部を乗り越えるときは、急に姿勢が変わりますので十分注意してください。また、凸部を斜めに乗り越えるとクローラが外れる場合がありますので、凸部に対して直角に乗り越えてください。

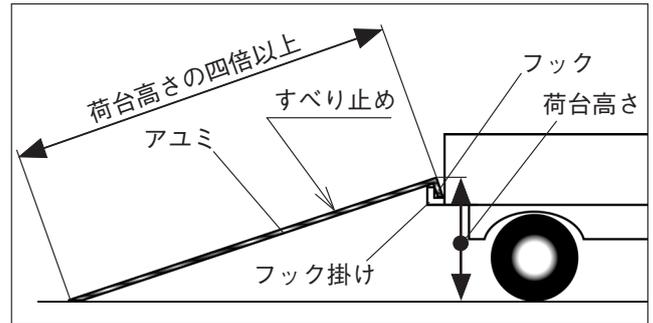


⚠️ 自動車への積み込み・積み降ろしをするときは…

⚠️ 警告

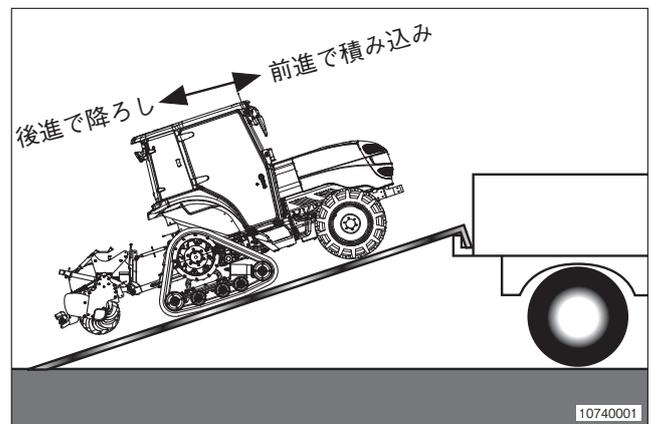
◆アユミは、機械の質量に耐える強度・幅(クローラがはみ出さない幅)・長さ(荷台高さの四倍以上)のあるすべり止めおよびフック付きのものを使用し、ハーフクローラトラクタの質量でアユミが傾いたりしない場所を選んでください。

◆トラックは荷台後部にアユミのフックを掛ける構造になっているものを使用してください。



⚠️ 警告

◆トラックへの積み降ろしは、必ず左右のブレーキペダルを連結し前進で積み込み、後進で降ろしてください。前進で降りると、クローラがアユミの段差ですべり、前輪が浮いて車体が旋回し転倒事故につながる恐れがあります。また途中で変速すると危険ですので、あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて運転してください。



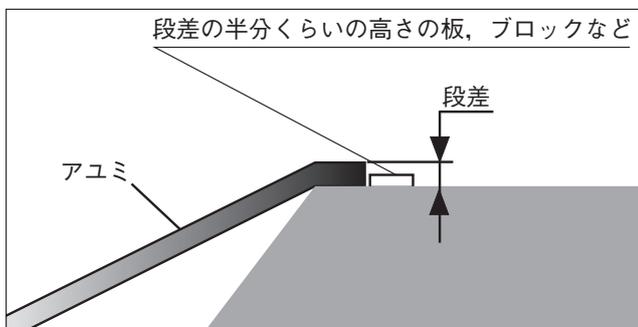
⚠️ 警告

◆クローラがアユミの段差に引っかかり、アユミに乗り上げない場合は、いったん機械を元に戻し、アユミをかけ直して、段差の半分くらいの高さの板、ブロックをアユミの前に置いて、段差を少なくしてからやり直してください。

⚠️ ほ場で作業をするときは…

⚠️ 警告

- ◆アユミはすべり止めおよびフック付きのものを使用し、左右の先端をそろえ、前後にずれないように確実に固定してください。
- ◆アユミとアユミを掛けた面との段差が大きい場合クローラがアユミの段差に引っかかり重大な事故を引起す原因になりますので、段差の半分くらいの高さの板、ブロックなどを置いて段差を少なくしてから低速で運転してください。



2. 仕様（装備）について

主な仕様（装備）は次のようになっています。

仕様（装備）の異なった製品については、異なる点のみ追加説明していますので、お買い上げの製品の仕様（装備）をお確かめのうえ、まちがいのないように活用してください。

品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書と内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。

⚠️ 警告

- ◆ハーフクローラトラクタは、左右に大きな段差のある状態で作業や旋回を行なうと、クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落として作業は行わないでください。

⚠️ 注意

- ◆積雪、凍結路面では非常にスリップしやすくなります。坂道での走行や傾斜地での作業はスリップに注意してください。

取扱いのポイント

- 極寒地での作業はゴムクローラの材質が変化し寿命を縮めます。-25℃～55℃の範囲で使用してください。
- ゴムクローラに燃料、オイルなどが付着した場合は直ちに拭き取ってください。そのままにしているとクローラの劣化につながります。

名 称	区 分	仕								様					タイヤ・クローラ		
		エンジン		パ ワ ー ス テ ア リ ン グ	チ ル ト ハ ン ド ル	倍 速 旋 回	オ ー ト ブ レ ー キ 旋 回	P T O (e - P T O)	変 速 (M A S C)	走 行 速 度		e i m a c	お ま か せ M A C	2 柱 フ レ ー ム	キ ャ ビ ン	前 輪	後 輪
		エン ジ ン 型 式	出 力 kW (P S)							標 準	高 速						
GAK32	UV	E3CG	24.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8-18	ハイラッククローラ (芯金レス)		
	XUV		(32.6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
GAK36	UV	E3CG	26.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8-18	ハイラッククローラ (芯金レス)		
	XUV		(36.1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
GAK41	XUV	E4CG	30.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8.3-20	ハイラッククローラ (芯金レス)		
GAK46	XUV		(41.1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
GAK50	UV	E4DE	33.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8.3-20	ハイラッククローラ (芯金レス)		
	XUV		(45.6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
GAK50	UV	E4DE	36.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8.3-20	ハイラッククローラ (芯金レス)		
	XUV		(50.0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

・型式記号の説明

X = デラックスキャビン（エアコン付）

U = e-PTO

V = e-MAC（高機能型MAC）+MASC（ノンクラ車）

3. 運転前の点検

ゴムクローラの張りと亀裂，損傷が無いかを点検します。クローラの張りが緩い場合は適切な張りに調整します。(7ページ参照)

大きな亀裂や損傷がある場合は「お買いあげ先」で交換を行なってください。

点 検 箇 所	点 検 内 容
ゴムクローラ	<ul style="list-style-type: none"> ●クローラに大きな損傷はありませんか。 ●クローラの張りは適正ですか。
スプロケット アイドラ ローラ	<ul style="list-style-type: none"> ●泥詰まりや石のかみこみはありませんか。 ●雪詰まりはありませんか。 ●草の巻き付きはありませんか。 ●極端な摩耗や偏摩耗はしていませんか。
アイドラ ローラ	<ul style="list-style-type: none"> ●オイル漏れはありませんか。 <p>オイル漏れがある場合は、「お買いあげ先」で点検を受けてください。オイル切れをおこし破損するおそれがあります。</p>
スクレーパ	<ul style="list-style-type: none"> ●スキマは適正ですか。 ●極端な摩耗や偏摩耗や変形はしていませんか。 <p>スキマが適正でない場合、アイドラ部やクローラフレームが破損するおそれがあります。</p>
各部のボルト・ナット	<ul style="list-style-type: none"> ●緩みはありませんか。
揺動支点部	<ul style="list-style-type: none"> ●グリースアップを定期的に行ってください。 <p>50時間ごとのグリースアップが目安です。グリースアップ量の目安は、シャフト部からグリースが湧き出すまでが目安です。</p>

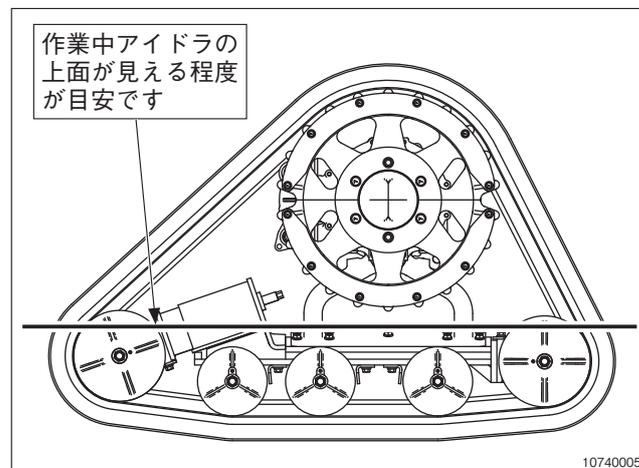
4. 運転操作のしかた



◆凸凹やカーブの多い所では、絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

- ① ほ場での旋回は速度を下げ、ハンドルとブレーキ（片ブレーキまたは倍速旋回・オートブレーキ旋回）を併用してください。
- ② 片側クローラをロックしての急旋回は、ほ場を荒しますので、切返しでの旋回をお勧めします。
- ③ 機械保護のため、運転中に急発進，急停止，急旋回など，無理な操作はしないでください。
- ④ 重けん引作業を行なうときは低速で行なってください。

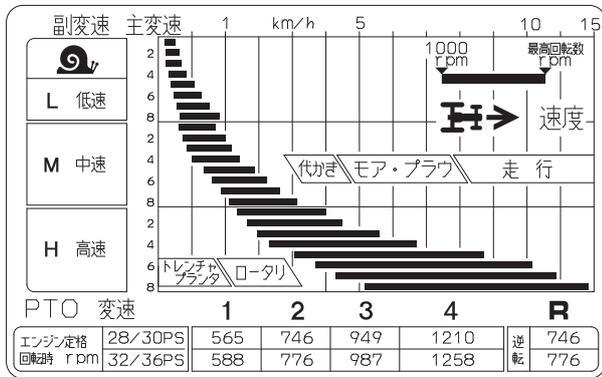
- ⑤ 雪上での走行や作業は、アイドラの沈下量が25cm程度を目安（図を参照ください）として作業してください。それ以上沈下するような所では，作業や走行を行わないでください。



5. 作業に適した速度の選びかた

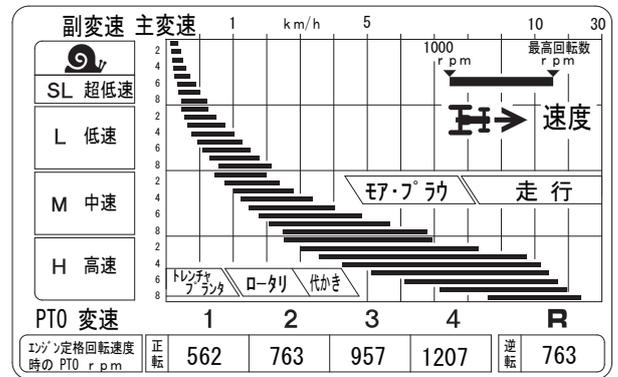
トラクタの走行速度およびPTO回転速度は作業内容、ほ場の条件によって異なります。
安全で最適な速度で運転します。

[GAK32・36型]



10560026B

[GAK41・46・50型]



10740003

6. 3点リンク

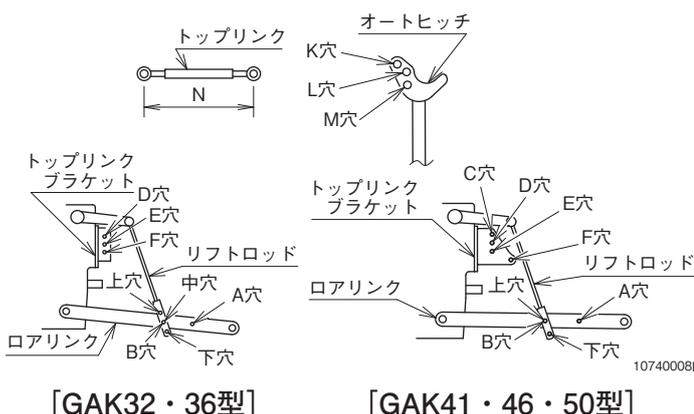
- ① 3点リンクの寸法はホイールトラクタと異なりますので、下記を参照してください。
・ロアリンク後方目玉の地上高(mm)

	機種	GAK32/36		GAK41/46/50		
		ロワリンク	前穴	後穴	前穴	後穴
リフトロッド	上穴	最上げ	963	962	901	使用不可
		最下げ	399	486	307	
		揚程	564	476	594	
	中穴	最上げ	917	922		
		最下げ	324	418		
		揚程	593	504		
	下穴	最上げ	824	841	822	847
		最下げ	181	287	182	286
		揚程	643	554	640	561

内は純正ロータリ装着時

- ② 3点リンクの取り付け

3点リンクの取り付けは作業機によって異なりますので、下記の表と作業機の取扱説明書を参照し、取り付けてください。



10740008B

	三菱 スーパーヒッチ		松山ヒッチ		小橋ヒッチ		ササキヒッチ	
	GAK 32/36	GAK 41/46/50	GAK 32/36	GAK 41/46/50	GAK 32/36	GAK 41/46/50	GAK 32/36	GAK 41/46/50
リフトロッド 取付穴	下	上	下	下	下	下	下	上
ロワリンク 取付穴	B	B	B	B	B	B	B	B
トップリンク ブラケット穴	F	F	F	F	E	E	F	E
トップリンク 長さ(N) mm	565	520	650	560	670	670	655	631
オートヒッチ 取付穴	K	K	K	K	K	K	K	K

7. トレッド

・ハーフクローラトラクタは、前輪タイヤ、および後輪クローラのトレッド調整はできません。

	タイヤ・クローラ		駆動方式	調整段数		トレッド (mm)	
	前輪	後輪		前輪	後輪	前輪	後輪
GAK32/36	8-18	ハイラグ クローラ (芯金レス)	4 駆	1	1	1260	1145
GAK41/46/50	8.3-20					1250	1285

8. 定期点検整備表

機械の点検整備につきましては [GA28～GA50の取扱説明書] の84ページから始まる「手入れのしかた」を参照してください。ここでは、ホイールトラクタと異なる点のみ説明いたします。

- ・正常な機能を発揮し、いつも安全な状態であるように「定期点検整備表」を参考に点検・整備をします。
- ・「定期点検整備表」は一般的な目安です。異常を感じたときはその都度、調整をします。
- ・表示記号の説明
 - …トラクタを使用する前に始業点検を行い調整・補給・掃除などの処置をします。
 - ◎…指定時間ごとに点検し、調整・補給・掃除などの処置をします。
 - …指定時間ごとに交換します。

点検・整備項目	整備内容	点 検 整 備 間 隔					備 考	参 照 ページ
		運転前	50時間	100時間	200時間	400時間		
ゴムクローラの張り調整	点検・調整	○		◎			新車初期点検時は必須	7
揺動支点部、各部グリスアップ	補給	○	○					6
各部ボルト・ナットの緩み	点検	○						7
ローラ、アイドルのオイルと オイルシール	点検 交換	○			◎	●	200時間ごとの点検と 400時間ごとのオイル交換	8
スプロケット部の摩耗	点検	○						7
ゴムクローラの損傷	点検	○						7
各部の泥・雪付着	点検・洗浄	○						8
スクレーパとローラ、アイドルのスキマ	点検・調整	○						8

9. 給油・給脂のしかた



◆掃除・点検・調整は機械を平坦な場所に置き、エンジンを停止して各部の動きが止まってから行なってください。

1. 給油・給脂表

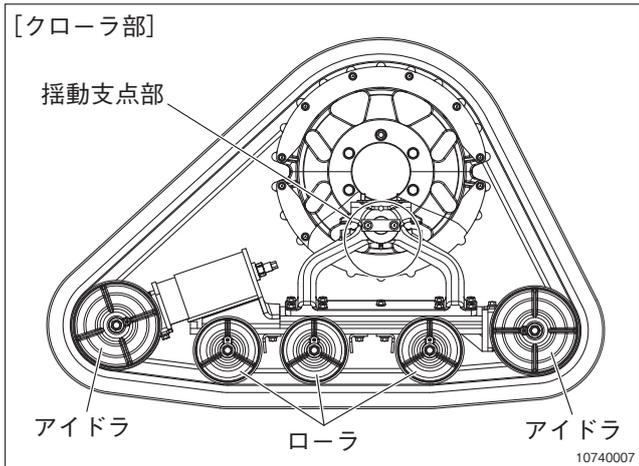
No.	箇所	種類	分類		容量(cc)	交換時期	参 照 ページ
			API	SAE			
①	揺動支点部	グリス	—	—	適量	50時間ごとに給脂	6
②	ローラ	ギヤオイル	GL-4	80W	60	200時間ごとの点検と400時間ごとのオイル交換	6
③	アイドル	ギヤオイル	GL-4	80W	120	200時間ごとの点検と400時間ごとのオイル交換	6

・表中の容量は交換の目安です。交換後は必ず給排油口で適量かどうか確認してください。

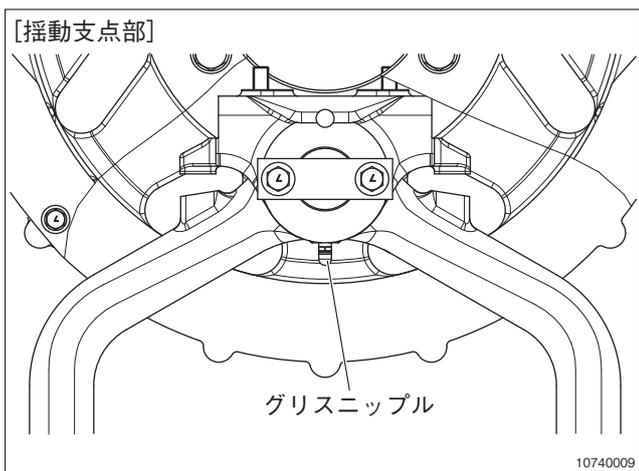
2. 給油・給脂のしかた

⚠注意

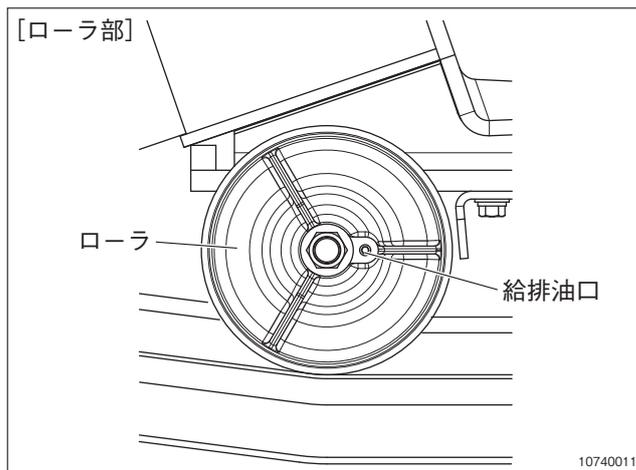
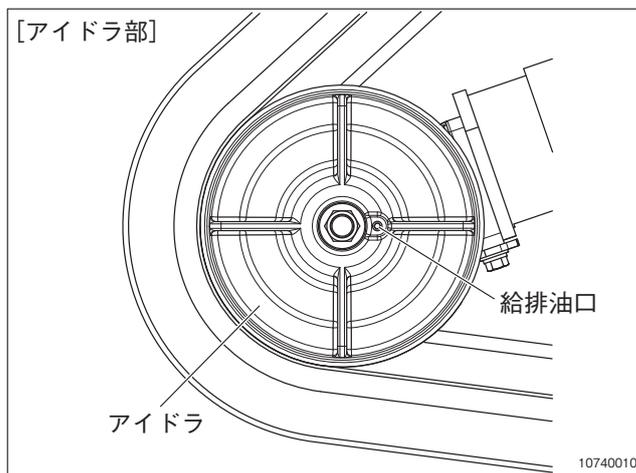
- ◆指定時間ごとのグリスアップを守らないと、揺動支点のシール性が低下し、泥水が侵入して、揺動支点が破損し、最悪走行できなくなるおそれがあります。
- ◆軸受部のオイル量をチェックし、不足している場合は補給してください。



- ① 50時間毎に揺動支点のケース部にグリス給脂してください。ケース下部のプラグを外し、グリスニップルへ補給してください。(シャフトからグリースが湧き出すまで)



- ② 400時間ごとにローラ、アイドラのオイルを交換してください。補給時は給排油口を車軸中心高さに合わせ、オイルがあふれ出るまで補給してください。給排油栓は締付時ネジ部にシールテープを巻いてください。



10. クローラ部の点検と調整

⚠ 警告

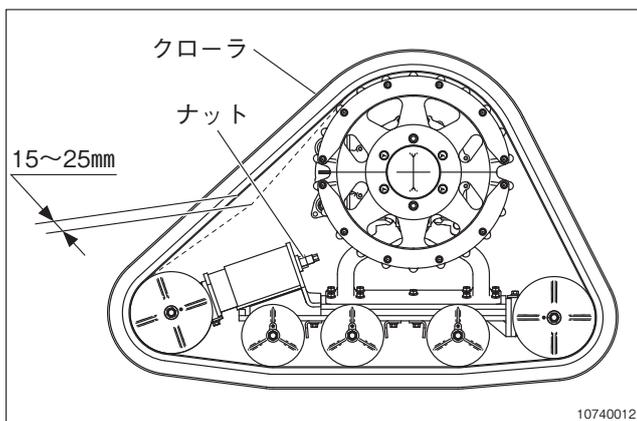
◆点検・調整は平坦な場所で前進走行後停止し、駐車ブレーキをかけ、作業機を降ろし、エンジンを止め各部の動きが止まってから行ってください。

◆ゴムクローラの張りがゆるいまま走行すると、走行中に脱輪し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- ① ゴムクローラに亀裂、損傷が無い点検し、大きな亀裂や損傷がある場合は「お買いあげ先」で交換を行なってください。クローラのたわみが大きいときは張り調整を行なってください。
- ② ローラ、アイドル、スプロケット、クローラガイドに損傷または変形が無い点検し、損傷または変形がある場合は「お買いあげ先」で交換を行なってください。
- ③ 可動部分やゴムクローラへの草の巻付き、石などはさみ込みが無い事を確認し、はさまっている場合は取除いてください。
- ④ 各部のボルト、ナットの緩みが無い点検してください。
- ⑤ ゴムクローラの張りの点検と調整

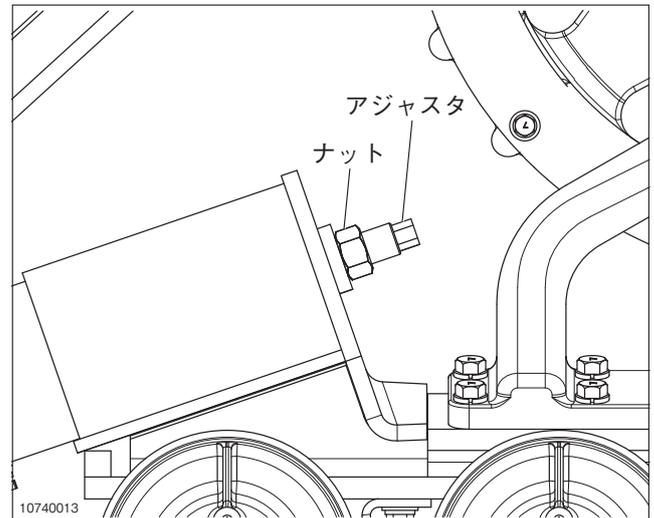
(1) 点検

- ・クローラを20～25kgfの荷重で押したときたわみが15～25mmの範囲にあるか確認してください。
- ・張りが適正でない場合は調整してください。



(2) 調整

- ・ナットをゆるめます (対辺32)。
- ・アジャスターを回し (対辺17), クローラを20～25kgfの荷重で押したときたわみが15～25mmになるように調整します。
- ・調整後はナットを元どおりに締め付けます。



取扱いのポイント

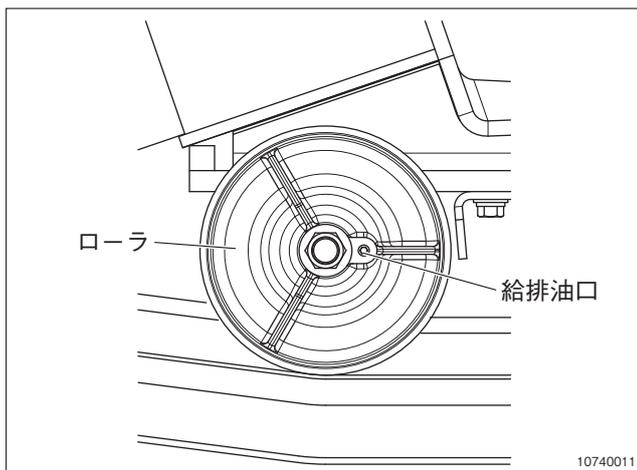
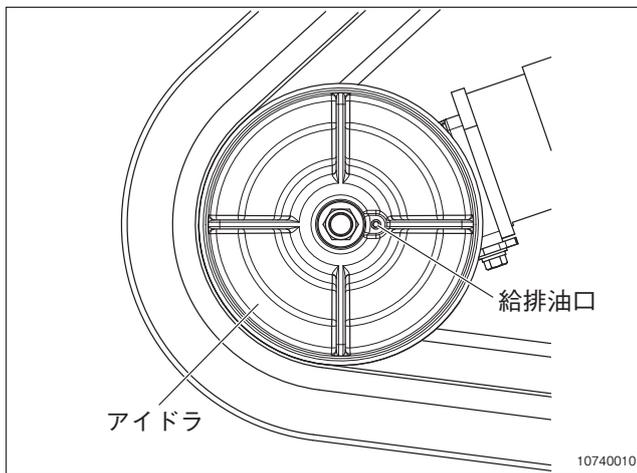
- ゴムクローラの張り過ぎはアイドルにクローラの異常な張力が掛りアイドルを破損するおそれがあります。
- 新車時や新品クローラ交換直後は初期伸びします。初期50時間運転後は必ず張り調整を行ってください。

⑥ アイドラ・ローラの点検

- ・ローラ・アイドラのオイルシールは200時間ごとに点検し、オイル漏れがある場合は「お買い上げ先」で点検・交換を行なってください。
- ・給排油口を車軸高さに合わせ、給排油栓をはずしオイルが出てくるか確認してください。出てこない場合は「お買い上げ先」にて給油してください。

取扱いのポイント

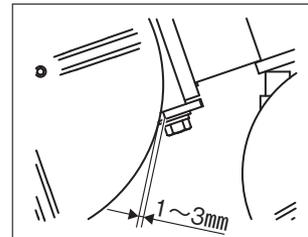
- アイドラやローラのオイル漏れを放置するとオイル切れをおこしアイドラやローラが破損する恐れがあります。
- オイルの交換は「お買い上げ先」で行ってください。



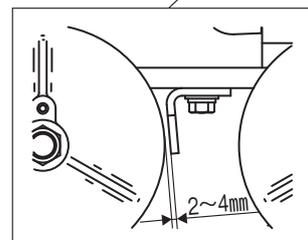
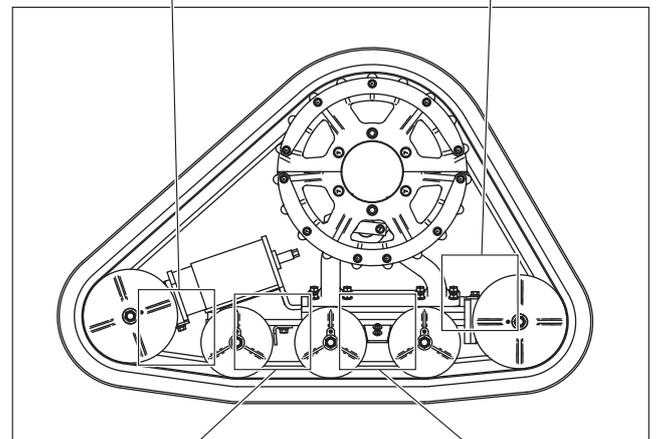
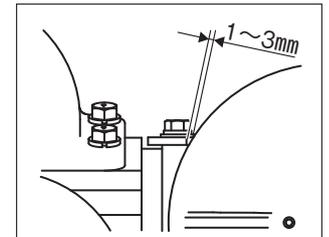
⑦ スクレーパーの点検と調整

- ・スクレーパーの装着・スキマ調整をしないと、アイドラ・ローラ部に雪や赤土などが巻き付き、クローラに異常な張力がかかり、アイドラ・ローラ部が破損し走行できなくなるおそれがあります。
- ・アイドラ・ローラとスクレーパーのスキマが下図寸法となるように、スクレーパー長穴部を動かし調整してください。

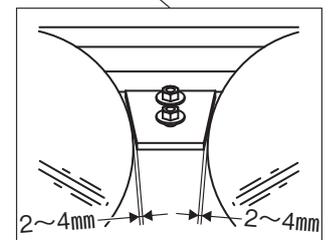
前アイドラスクレーパー



後アイドラスクレーパー



ローラスクレーパー



ローラスクレーパー
[GAK32・36型]

取扱いのポイント

- 雪や赤土などがアイドラ・ローラに巻き付くような作業では、必ずスクレーパーを装着し、アイドラ・ローラとスクレーパーの隙間の確認・調整をしてください。

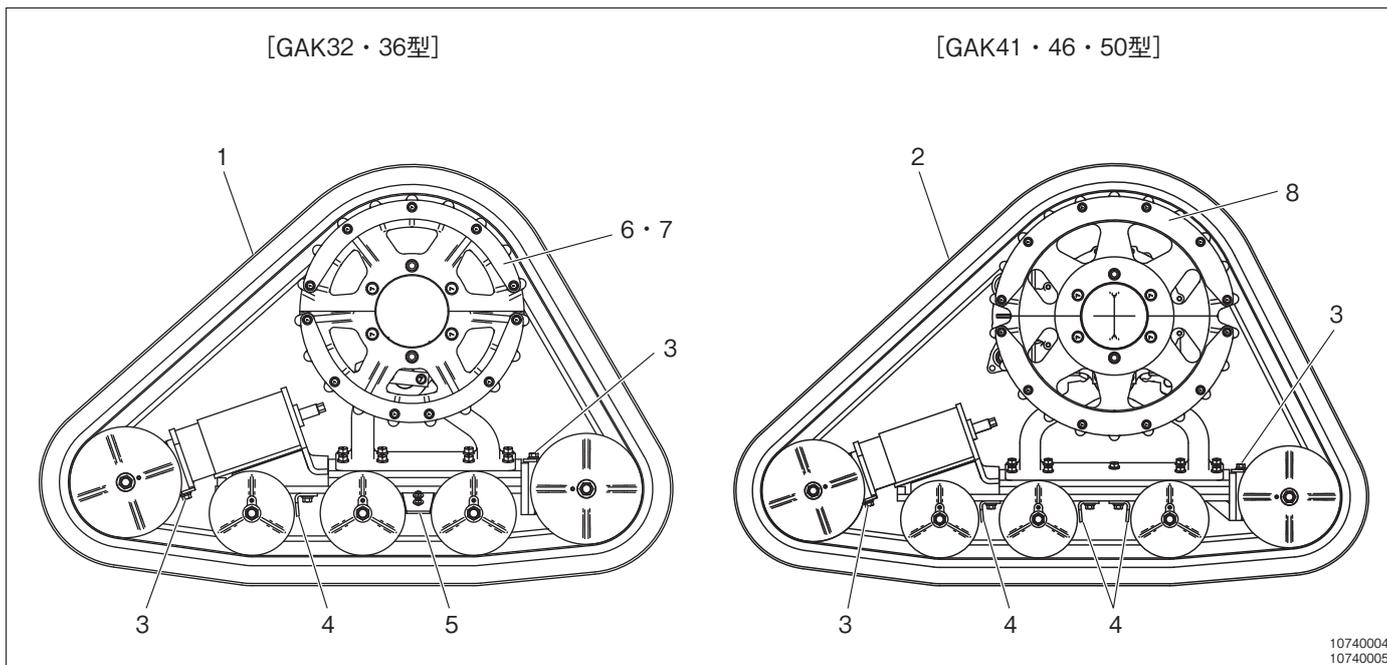
11. 付 表

1. 主要諸元

型 式		三菱GAK32	三菱GAK36	三菱GAK41	三菱GAK46	三菱GAK50	
車 両 型 式 名		三菱EDM-GT36C		三菱EDM-GT46F		三菱EDM-GT50D	
駆 動 方 式		4 輪駆動 (後輪クローラ)					
機 体 寸 法	全 長 (mm)	3270		3645			
	全 幅 (mm)	1660		1685			
	全 高 (mm)	2510[2145]		[2335]	2545[2335]		
	最 低 地 上 高 (mm)	375		385			
機 体 質 量 (kg)		1940[2110]		[2455]	2280[2490]		
エ ン ジ ン	型 式 名	E3CG		E4CG	E4DE		
	種 類	水冷4サイクル3気筒ディーゼル		水冷4サイクル4気筒ディーゼル			
	総 排 気 量 (L/cc)	1.647 {1647}		2.197 {2197}	2.955 {2955}		
	出 力 / 回 転 速 度 (kW/PS/rpm)	24.0 {32.6} /2600	26.6 {36.1} /2600	30.2 {41.1} /2500	33.5 {45.6} /2500	36.8 {50} /2500	
	使 用 燃 料	ディーゼル軽油, JIS 2号, 3号, 特3号					
	燃 料 タ ン ク 容 量 (L)	46		50			
	バ ッ テ リ ー (V・Ah)	80D26R 12・55 [95D31R 12・64]		95D31R 12・64			
	前 輪 タ イ ヤ	8-18		8.3-20			
走	クローラ	ハイラグ (芯金レス)					
	接 地 長 (mm)	1030		1160			
	幅 (mm)	400					
	リ ン ク 数	38		42			
	ピ ッ チ (mm)	90					
接 地 圧 (kPa/kgf/cm ²)	14.3 {0.15} [15.8 {0.16}]		[16.3 {0.17}]	14.9 {0.15} [16.6 {0.17}]			
緩 衝 方 式	揺動式±9°						
軸 距 (mm)	1730		1930	1970			
行 輪 距	前 輪 (mm)	1260		1250			
	ク ロ ー ラ (mm)	1145		1285			
部	ク ラ ッ チ 形 式	湿式多板					
	ブ レ ー キ 形 式	湿式ディスク式					
	か じ 取 り 方 式	パワーステアリング (全油圧式)					
	変 速 方 式	常時噛み合い式/同期噛み合い式					
	変 速 段 数 (段)	前進24, 後進24		前進32, 後進32			
	走 行 速 度	前 進 (km/h) [最高速度]	0.24~14.0[14.9]		0.16~21.5[23.6]		
		後 進 (km/h)	0.24~13.6		0.16~21.2		
	最 小 旋 回 半 径 (m)	2.2		2.5			
P T O	回 転 速 度 (rpm)	正 転	588・776・987・1258		562・763・957・1207		
		逆 転	776		763		
軸 径 (mm)	JIS 35 (6スプライン)						
作 業 機 置	制 御 方 式	ポジションコントロール					
	装 着 方 式	3点リンクJIS I形					

[] 内の値はキャビン装備機を示す。

2. 主な消耗部品



10740004
10740005

見出 番号	部品番号	部 品 名 称	台当個数		備 考
			GAK32/36	GAK41/46/50	
1	1073 4101 000	クローラ (400×38×90)	2	—	クローラ (GAK32/36用)
2	1074 4101 000	クローラ (400×42×90)	—	2	クローラ (GAK41/46/50用)
3	704E 6400 110	スクレーパ (ローラ/FR)	4	4	アイドラスクレーパ
4	704E 6400 120	スクレーパ (ローラ)	2	6	ローラスクレーパ
5	704E 6402 400	スクレーパ (ローラ)	2	—	ローラスクレーパ (GAK32/36用)
6	704E 3060 541	スプロケット (ホイール/19/A)	2	—	スプロケット (GAK32/36用)
7	704E 3060 551	スプロケット (ホイール/19/B)	2	—	スプロケット (GAK32/36用)
8	708E 3060 541	スプロケット (ホイール/22)	—	4	スプロケット (GAK41/46/50用)

取扱いのポイント

- クローラ部の部品の交換は「お買い上げ先」で行ってください。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ 及び安全フレーム検査成績表

平成 26 年度
農業・食品産業技術
総合研究機構



型式名：三菱 CFAK50

合格番号：214012

種類：安全キャブ

依頼者名：三菱農機株式会社
住所：島根県松江市東出雲町
揖屋 667 番地 1

I 装着可能トラクター

1. 型式名

三菱 GAK50

三菱 GAK46

三菱 GAK41

2. 主要諸元（最大トラクター）

- 型式名 : 三菱 GAK50
- 種類 : 半装軌式
- 質量（キャブ付き） kg : 2505
- 軸距 mm : 1970
- 機関出力 / 回転速度 kW{PS} / rpm : 36.8{50} / 2500

II 構造の概要

1. 構造及び装着法

供試キャブは、鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり、防振ゴム・取付金具を介してトランスミッションケース部及びリヤアクスルハウジング部にボルトで装着。

ウインドスクリーン、ドア（両側）、側窓、後窓を装備。

2. 主な装備

シートベルト（2点式）、換気・暖冷房装置、電動ワイパー（前・後）

3. 主要寸法 ※

- 座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ : 99.0 cm
- フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ : 146.0 cm
- 座席基準点上方 81cm の高さにおけるキャブの内幅 : 100.0 cm
- ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅 : 102.5 cm
- 戸口の幅 (上部) : 76.5 cm
- (中部) : 85.0 cm
- (下部) : 37.5 cm
- 戸口の高さ (フートプレートから) : 136.0 cm
- 最低位ステップの高さ : 50.5 cm
- キャブ装着時のトラクターの全高 (キャブ上端まで) : 232.5 cm
- キャブの全幅 (フェンダーを含む) : 133.0 cm
- 座席基準点上方 81cm の高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離 : 41.5 cm

※ 1. 三菱 GAK50（タイヤサイズ：前輪 8.3-20 4PR 後輪 400W×42L×90P）に装着時。

2. トラクターシートの銘柄型式：宇昌, W09041

3. ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4. 主要材料

- 主 フ レ ー ム : STK 400, STKR 400, STKM 13 C, SS 400, SPHC, SPCC, SPCE
- 装着ブラケット : STKM 13 A, SS 400
- 装着ボルト : S 45 C

III 検査成績

1. 強度試験

1) 水平負荷試験は、キャブの後部左側、側部右側に対して実施。

- 基準質量 : 2550 kg
- 所要吸収エネルギー : 後部負荷 3.57 kJ {364 kgf·m}
側部負荷 4.46 kJ {455 kgf·m}
- 圧壊力 : 51.00 kN {5201 kgf}

2) 試験後のキャブの永久変位

- 後部(前方へ) : 右側 2.5 cm 左側 6.5 cm
- 前部(前方へ) : 右側 2.5 cm 左側 6.5 cm
- 側部(左側方へ) : 前部 12.5 cm 後部 12.5 cm
- 上部(下方へ) : 前部 右側 1.0 cm 左側 1.5 cm
後部 右側 0.0 cm 左側 2.5 cm

3) 側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差 : 10.5 cm

2. 騒音※

- 79.5 dB(A) [三菱 GAK50]

※ 7.5km/hに近い速度段で、けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音(運転者の耳もと)

IV 付記

強度試験はコードIにより実施した。

本成績表のIIの3. 主要寸法における座席基準点は、平成22年度の「農用トラクター(乗用型)用安全キャブ及び安全フレームの型式検査の主要な実施方法及び基準」の改正により変更されたものであり、平成21年度までの座席基準点とは位置が異なる。

 **三菱農機株式会社**

本 社	〒699-0195 島根県松江市東出雲町揖屋 6 6 7 - 1	☎ (0852) 52-2111(代)
事業本部(東京事務所)	〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4	☎ (0480) 58-7050(代)

販売会社 (販売会社は広域販売会社のみを記載)

三菱農機販売株式会社	〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4	☎ (0480) 58-9524
北 海 道 支 社	〒066-0077 北海道千歳市上長都 1 0 4 6	☎ (0123) 22-1234
東 北 支 社	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 3 丁目 1 - 1	☎ (022) 207-3711
関 東 甲 信 越 支 社	〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4	☎ (0480) 58-9521
東 海 支 社	〒453-0862 愛知県名古屋市中村区岩塚町字高道 1 (三菱重工業株式会社 岩塚工場内)	☎ (052) 419-6721
北 陸 支 社	〒918-8231 福井県福井市問屋町 2 - 3 8	☎ (0776) 27-3078
西 日 本 支 社	〒701-4254 岡山県瀬戸内市邑久町豆田 1 6 1 - 1	☎ (0869) 24-0820
九 州 支 社	〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜 7 - 1	☎ (0942) 84-1888